

★ 2012年8月31日。オープニングステージの応援に集まった提案団体のみなさんと記念写真。この日だけでなく、毎日、たくさんの団体のみなさんが会場を訪れ、「倉敷 まちづくりびと展」を盛り上げました。会場に集まることで、市民企画提案事業の参加団体同士の「顔」をお互いに見ることができ、そしてパネルを見ることによって、それぞれの活動内容の「輪郭」を感じることができたようです。



★ 会場であるアリオ倉敷センターコートの特異性を壊さず、しかも目立つように、森をイメージしたイラストを配した4本のタワーに、倉敷市市民企画提案事業の平成23年度の活動報告をパネルにして展示。





クイズラリー

★ 参加者がパネル展を食い入るように見つめている姿があちこちで見られたのは、パネル展の内容を回答にしたクイズラリーに参加しているから…。子どもたち、お父さん・お母さん、そしてお年寄りも、友人やカップルで訪れた若い人たちの参加する姿も見られました。少し難しい内容でしたが、ひとつひとつパネルを見て回る「子どもと大人」「参加者と団体の担当者やスタッフなど」との間でコミュニケーションが生まれていました。「市民企画提案事業」とそこで活動する団体について、市民のみなさんに知ってもらうよい機会になったと思います。



ステージイベント、実演／体験

★ 8月31日（金）～9月2日（日）は、パネル展、クイズラリーと並行して、ステージイベント、実演／体験イベントを組み合わせ、そのすきまの時間をゆるキャラ2体がつなぐように構成することで、会場に自然な賑わいが生まれました。ステージのナビゲーターは、ミュージカル「ハンスの冒険」のハンス役、清水由樹と、バルーンパフォーマーのとりこ。団体のみなさんも登場し、賑やかに会場を盛り上げました。★ 3日間、テイストの違うデュオの演奏で会場を盛り上げたのは、市民企画提案事業の参加団体「パライスタミュージック」。







バルーンパフォーマーのとりこ（上）、スクラップブックで参加した小宮さん（下）





コミュニケーション麻雀の名のとおり、男女・年代を問わず参加する、和やかな場になっていました。



防災の日スペシャル

★ こちらは9月1日防災の日の様子。ステージではとりこのバルーンショー、手前のスペースでは防災の日スペシャルとして、全労済岡山県本部の「防災キッズ 迷路」が参加しました。迷路の中で防災クイズの答えのカードを選び脱出したら答え合わせ...子どもたちも楽しみながら学んでいました。



ゆるキャラとパチリ★

★ 会場を盛り上げてくれた「クライフ」と「タックス隊長」。ゆるキャラの黄金比率2頭身のクライフは子どもたちに人気。細かな仕草ができるタックス隊長は10代の人気を集めていました。

